

第1回 瑞穂町自立支援協議会会議録

(要点筆記)

日程：令和7年12月16日（火）

時間：午後3時15分から午後4時まで

場所：町民会館 第2会議室

出席者：谷口委員、中里委員、堀之内委員、戸村委員、宮岡委員、野邊委員（代理：粕谷氏）、石藏委員、橋本委員、芳井委員、若松委員、利根川委員、畠澤委員 計12名

欠席者：隅河内委員、杉浦委員、平沼委員

事務局：青木課長、吉岡係長、澤辺主任

傍聴者：井上議員

議題 1 各部会からの報告

2 その他

配布資料

①会議次第（A4 1枚）

②自立支援協議会委員名簿（A4 1枚）

③基幹相談支援センターについて

開会

事務局・課長挨拶

1 議題

1 各部会からの報告

生活部会

- ・困りごとの抽出、相談の場の周知・共有を行う。
- ・部会で各委員が知識をつけ、現状を把握し、社会資源を開発・検討する。
- ・若年層の境目で利用できるサービスについて検討・共有する。

就労部会

- ・今年度の庁内実習は、図書館で行った。参加者は3名。（知的2名、精神1名）
内容は、図書館の棚や倉庫の整理。本の掃除や、返却の事務手続きを行った。
来年度の募集時期や条件は、再度調整の上、行うこととする。
- ・福祉マルシェの実施や OHAKO の参加について検討する。

質疑・その他意見

- ・年齢の狭間で相談窓口が異なると相談しづらい、分かりにくいとの課題あり。
- ・庁内実習の開始時間を、障害者施設の利用時間に合わせてほしい。
- ・福祉マルシェを実施する際、産業祭など町のイベント時期を避けてほしい。
- ・障害者施設の職員配置の都合上、開催頻度も考慮してほしい。

2 障害児等タイムケア事業の終了

- ・障害児等タイムケア事業の終了に伴い、利用者の保護者に対し説明会を行った。
福祉課と心身障害者（児）福祉センターあゆみ、近隣の放課後等デイサービスと連携を図り、スムーズな利用者の移行に努めている。また、適宜進捗を確認している。

質疑・その他意見

- ・障害児等タイムケア事業の終了後、空きスペースの活用について検討する必要がある。
→次回の自立支援協議会の議題として検討する。
- ・空きスペースを、地域生活支援センター事業のスペースにしてほしい。
- ・計画相談事業所として空きスペースを活用してほしい。
- ・日中一時支援事業のスペースとしてほしい。
- ・障がい者（児）の保護者の交流スペースにしてほしい。

3 その他

質疑・その他意見

- ・精神科での立場となると受診相談等で関わっているが、最近は精神科受診に至るまでの相談が増えている。発達障害や引きこもり等の相談、児童の相談や病状についても統合失調症やうつ等幅広い。家族が病院に連れてくることも大変。限界もあるが垣根を越えて支援ができると良い。